

令和5年度

人文社会学部

第3年次編入学 学生募集要項

名古屋市立大学

目 次

	ページ
教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）	2
1 募集人員	7
2 編入学の時期及び編入学年次	7
3 出願資格	7
4 障害等を有する入学志願者との事前相談	7
5 出願手続	8
6 選抜方法	11
7 合格発表	12
8 入学手続	13
9 納付金	13
10 入学後に必要となる経費について	14
11 追加合格	14
12 編入学後の履修等について	14
13 試験場及び学生課入試係案内	17
14 授業科目概要	19
15 個人情報の取扱い	21

緊急時における大学からのお知らせについて

新型コロナウイルス感染症の状況により、本募集要項の内容を変更する必要が生じた場合や、災害の発生時などの緊急時の連絡は、本学ウェブサイトにより周知しますので、受験前は特に注意してください。

○本学ウェブサイト
<https://www.nagoya-cu.ac.jp/>



教育に関する目標とアドミッション・ポリシー（入学者受入方針）及び ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

名古屋市立大学

《教育に関する目標》

教育は、学部・大学院を問わず、大学が社会や学生・大学院生に対して果たす最優先の責務であり、その強化に取り組む。そして、あらゆる機会を通じて幅広い視野と教養、「共生」の精神、豊かな創造性を身につけた人材を育成する。また、高度な知識と技術を身につけ、目的意識と主体性を持って、地域社会及び国際社会に貢献することができる人材を育成する。

《アドミッション・ポリシー》

名古屋市立大学では、各学部がその理念と目的に応じて、入学者選抜試験における教科・科目を設定しており、明確な目的意識と勉学への強い意欲を持ち、大学の教育に関する目的を理解し、次のような資質を有する多様な学生を求めます。

- 十分な基礎学力とそれに裏打ちされた知識・技能
- 自ら課題を発見・解決し、それを伝える思考力・判断力・表現力
- 主体性を持ち、幅広い視野で多様な人々と協働して学ぶ態度
- 豊かな人間性と、地域や社会で活躍できる適性

《ディプロマ・ポリシー》

各学部に所定の期間在学し、各学部の教育理念と教育目的に沿って設定された授業科目を履修して、各学部の履修規程により定められた科目及び単位数を修得することが学位授与の要件である。

修得すべき科目には、一般教養科目、外国語科目、情報科目、健康・スポーツ科目、ボランティア科目、基礎科目（人文社会学部以外）からなる教養教育科目と、各学部の方針に応じて編成された専門教育科目が含まれ、これらの科目を修得しているかどうかを学位授与の基準となる。さらに、一部学部においては、卒業論文又は卒業研究を必須とし、論文審査や口頭試問などにより厳格に審査を行うことで身に付けた学士力を確認している。

《人文社会学部の人材の養成に関する目的》

- 人類の豊かな未来を求めて人文科学・社会科学の諸分野について学び、今日の人間、社会、文化に関わる課題について研究して、それを社会に役立てる人材
- 現代の地域社会や国際社会が直面する複雑な諸問題を多面的に考察し、実践的に解決していく知を身につけた人材
- 少人数教育の演習・論文指導によって、発表・討論能力や構想力・文章表現力を身につけた人材

《人文社会学部のアドミッション・ポリシー》

人文社会学部では次のような人の入学を期待している。

求める学生像

- 人間・社会・文化に関わる諸問題に関心を持ち、持続可能な社会の形成に向けて、学際的な知識と柔軟な発想力をもって積極的に取り組む人
- 日常、当たり前になっている習慣や規範、考え方を客観的に捉え直し、国内外における現代的課題

に対して、根本的にかつ多角的にアプローチできる人
○学ぶ意欲があり、さまざまな人との出会いや新たな経験に主体的である人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 国語・英語・数学において十分な基礎学力を有すること
- 自分の考えを筋道立てて説明できる論理的な思考力や言語表現力を持ち、他者の声に傾聴するなど十分なコミュニケーション能力を備えていること

入学者選抜の基本方針

高等学校等で学習する全ての教科が人文社会学部教育の土台になるため、いずれの入試においても、調査書の評定、または、大学入学共通テスト等で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を確認します。

〔心理教育学科第3年次編入学試験(一般選抜)のアドミッション・ポリシー〕

求める学生像

- 人間について、その発達や個性、保育・教育環境に関心があり、心理学や教育学を深く学び、生涯発達ならびに子育て／育ちの支援に専門的に貢献しようという意欲のある人
- 心理学と教育学にとどまらず、他分野の知識も生かして、人間の多様なあり方について総合的に捉え、生涯発達や子ども育成支援に関わる現代的諸課題の緩和または解決に向けて積極的かつ主体的に取り組もうとする人
- 多様なこれまでの学校や社会での経験を活かし、心理学や教育学の専門的知識を学び、人が生まれ育つ環境を持続可能にすることに関与しようとする人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 大学3年次以降の学修、特に討論したり、レポートや卒業論文を作成したりするために必要な、日本語の十分な能力、英語の基本的運用能力を身につけていること

入学者選抜の基本方針

小論文試験により、心理学・教育学の知識を修得するに足る基礎学力とそれを活用した思考力、判断力及び表現力等を確認します。さらに面接を行い、これまでの学校や社会での多様な経験を活かし、心理学・教育学の知識を学ぶ学習意欲や積極性、本学科のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認する。英語運用能力はTOEIC公開テスト(Listening & Reading)により判定します。

〔心理教育学科のディプロマ・ポリシー〕

1. 知識・理解

心理学・教育学を基礎として、人間の多様性、生涯発達および子どもの育成支援について十分に理解できる。

2. 汎用的技能

人の理解や保育/教育、生涯発達と環境に関わる諸理論、心理・教育の技法を、心理・保育・教育の現場で応用できる。

3. 態度・志向性

健全な生育および保育/教育環境について持続可能性の視点から研究し、子どもが生まれ育つ環境を批判的に捉え返しながら、子どもの権利が保障される場を創造する知を身につけている。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

人間の個性、生涯発達の過程また環境との関係の中で生じる多様性について総合的に理解することで、子どもの発達に関わる現代的諸課題の解決およびその健やかな発達を保障する教育と心理的支援に貢献できる。

〔心理教育学科の特色〕

- ・本学科では、国家資格としての保育士資格と幼稚園教諭一種の免許が取得可能です。また、他学科において開講する授業科目を履修することで、中学校教諭一種（社会・英語）、高等学校教諭一種（地理歴史）・（公民）・（英語）の免許及び社会福祉士国家試験受験資格も取得可能です。ただし、いずれも2年間で取得できない場合があります。
- ・心理教育学科では、心理学概論、心理学統計法1・2、心理学実験1・2など定められた科目を修得することによって、公益社団法人日本心理学会が認定する認定心理士の資格取得が可能です。ただし、入学後2年間では取得できないことがあります。

〔現代社会学科第3年次編入学試験（一般選抜）のアドミッション・ポリシー〕

求める学生像

- 現代社会が直面する諸問題とりわけ身近な都市圏・地域社会に深い関心を持ち、持続可能な社会の形成に向けて解決のために努力する人
- これまでの短大・大学で得た、知識経験を生かし、社会の諸問題に関して現代社会学科において専門的知識を得ようとする人
- 大学での学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的的好奇心や柔軟な発想力を持つ人
- 大学3年次での学修のために必要な教養と課題発見力、論理的思考、討論発表能力、文章表現が身についた人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 社会科学の分野に関する基礎的な知識を有していること
- 大学3年次での学修のために必要な課題発見力・論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること
- 大学教養課程修了程度の語学力を有していること

入学者選抜の基本方針

TOEIC公開テスト、志願理由書、本学が実施する小論文及び面接試験では、現代社会学科の3年次からの学修に十分対応できる知識とそれを活用した思考力、判断力及び表現力等、本学科のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

〔現代社会学科第3年次編入学試験（社会人特別選抜）のアドミッション・ポリシー〕

求める学生像

- 現代社会が直面する諸問題とりわけ身近な都市圏・地域社会に深い関心を持ち、持続可能な社会の形成に向けて解決のために努力する人
- 社会人としてのこれまでの経験をもとに社会の問題を探究し、社会科学の諸分野を幅広く深く学び、社会調査などの基本的スキルを身につける意欲のある人
- 大学での学修のために必要な基礎知識を十分に習得し、勉学意欲を持ち、知的的好奇心や柔軟な発想力を持つ人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 大学3年次での学修のために必要な課題発見力・論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有していること
- 社会科学の分野に関する基礎的な知識を有していること

入学者選抜の基本方針

TOEIC公開テスト、志願理由書、本学が実施する小論文及び面接試験では、現代社会学科の3年次からの学修に十分対応できる知識とそれを活用した思考力、判断力及び表現力等、本学科のアドミッ

ション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認する。

〔現代社会科学のディプロマ・ポリシー〕

1. 知識・理解

社会学・社会福祉学・関連社会諸科学を基礎として、持続可能な都市や地域およびグローバル社会について現実を踏まえた構想力を身につけている。

2. 汎用的技能

地域社会で現に生起している社会問題群を的確に認識する社会調査の技法と分析能力を備えている。

3. 態度・志向性

都市問題や都市政策の実態および課題に対して積極的に学び、自他の人権を尊重する態度の重要性を理解している。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

多様性・多元性が高まる社会の中で、違いを認め、格差と差別を乗り越える社会のあり方を学び、地域社会の発展や協働・福祉に貢献できる。

〔現代社会科学の特色〕

- ・本学科では、中学校教諭一種（社会）、高等学校教諭一種（地理歴史・公民）の免許及び社会福祉士国家試験受験資格が取得可能です。また、他学科において開講する授業科目を履修することで、中学校教諭一種（英語）、高等学校教諭一種（英語）の免許も取得可能です。ただし、いずれも2年間で取得できない場合があります。
- ・社会調査士の資格が取得可能です。社会調査法、社会調査実習、データ解析法など定められた科目を修得することによって、一般社団法人社会調査協会が認定する社会調査士の資格が取得可能です。
- ・本学科では、第3年次編入学試験で社会人特別選抜を実施して社会の要請に応え、社会人の再教育、生涯学習に力を入れています。

〔国際文化学科第3年次編入学試験（一般選抜）のアドミッション・ポリシー〕

求める学生像

- 異文化に対する無理解や摩擦に起因する国際・国内問題に対して、具体的で深い知的好奇心と勉学意欲を持ち、国際平和に必要な多文化共生社会実現のために貢献しようとする意欲のある人
- これまで在籍した短大・大学で培った知識や経験を活かして、積極的に議論や研究を行い、それを論理的に表現できる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 人文社会学の基礎的知識を持ち、大学、とくにゼミでの学修に必要な論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有すること
- 原書を読んだり、討論するなどのアカデミック・スキルとしての英語運用能力、又は英語以外の外国語運用能力を有すること

入学者選抜の基本方針

これまで在籍した短大・大学で培った知識や経験を活かして、具体的で深い知的好奇心に基づいて国際・国内問題を積極的に議論して研究をすすめ、多文化共生社会実現のための貢献を目指し、国際文化学科の3年次からの学修に十分対応できる人を対象に行います。小論文、面接試験等で、将来、人文科学・社会諸科学分野の幅広い教養を身につけて国際社会に貢献しようとする志及び本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

〔国際文化学科第3年次編入学試験(社会人特別選抜)のアドミッション・ポリシー〕

求める学生像

- 異文化に対する無理解や摩擦に起因する国際・国内問題に対して、具体的で深い知的好奇心と勉学意欲を持ち、国際平和に必要な不可欠な多文化共生社会実現のために貢献しようとする意欲のある人
- 社会人としてこれまで培ってきた多様な社会経験や異文化経験を活かして、積極的に議論や研究を行い、それを論理的に表現できる人

修得しておくべき知識等の内容・水準

- 人文社会学の基礎的知識を持ち、大学、とくにゼミでの学修に必要な論理的思考、討論発表能力、文章表現力を有すること
- 原書を読んだり、討論するなどのアカデミック・スキルとしての英語運用能力、又は英語以外の外国語運用能力を有すること

入学者選抜の基本方針

これまで在籍した短大・大学で培った知識や経験を活かして、具体的で深い知的好奇心に基づいて国際・国内問題を積極的に議論して研究をすすめる、多文化共生社会実現のための貢献を目指し、国際文化学科の3年次からの学修に十分対応できる人を対象に行います。小論文、面接試験等で、将来、人文科学・社会諸科学分野の幅広い教養を身につけて国際社会に貢献しようとする志及び本学のアドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーに係る資質を確認します。

〔国際文化学科のディプロマ・ポリシー〕

1. 知識・理解

人文科学・社会科学諸分野の幅広い教養を基礎として、グローバルかつローカルな視座から自文化と異文化の相互関係を深く理解できる。

2. 汎用的技能

日本語および英語その他の外国語の実践的な言語コミュニケーション能力を発揮し、プレゼンテーションや情報発信を積極的に行える。

3. 態度・志向性

自文化理解および自文化異文化の相互関係の的確な把握を踏まえ、国際社会の持続可能な発展に貢献できる。

4. 統合的な学修経験と創造的思考力

人類の文化と社会の特質を多面的かつ批判的に把握し、国際社会の諸課題に対し柔軟で実践的な解決力を身につけている。

〔国際文化学科の特色〕

- ・本学科では、中学校教諭一種(英語)、高等学校教諭一種(英語)の免許が取得可能です。また、他学科において開講する授業科目を履修することで、中学校教諭一種(社会)、高等学校教諭一種(地理歴史・公民)の免許及び社会福祉士国家試験受験資格が取得可能です。ただし、いずれも2年間で取得できない場合があります。
- ・本学科では、第3年次編入制度で社会人特別選抜を実施して社会の要請に応え、社会人の再教育、生涯学習に力を入れています。

「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学のアドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学「提供大学」の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、使用するとは限りません。

1 募集人員

学 部	学 科	募集人員
人文社会学部	心理教育学科	2 名
	現代社会学科	6 名 (社会人特別選抜 3名以内を含む)
	国際文化学科	4 名 (社会人特別選抜 3名以内を含む)

2 編入学の時期及び編入学年次

編入学の時期は令和5年4月とし、第3年次に編入するものとする。

3 出願資格

(1) 心理教育学科(一般選抜)、現代社会学科(一般選抜)及び国際文化学科(一般選抜)の出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ア 大学、短期大学又は高等専門学校を卒業した者、又は令和5年3月までに卒業見込みの者
- イ 本学以外の大学において休学期間を除いて2年以上在学し、62単位以上を修得した者、又は令和5年3月までに修得見込みの者

(2) 現代社会学科(社会人特別選抜)及び国際文化学科(社会人特別選抜)の出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- ア 短期大学又は高等専門学校を卒業後、15年以上経過した者
- イ 大学卒業後、13年以上経過した者
- ウ 大学中途退学後、15年以上経過した者(本学以外の大学において休学期間を除いて2年以上在学し、62単位以上を修得していること)

なお、上記(2)に定める出願資格を有する者は、(1)に出願することもできる。ただし、併願することはできない。

(注) 上記出願資格には外国の大学等は含まれない。

(注) 上記(2)については、入学する時点での年数とする。

4 障害等を有する入学志願者との事前相談

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、令和4年7月20日(水)までに必ず本学へ申し出てください。

(1) 相談の方法

受験事前相談・配慮措置申請書(診断書等の必要書類添付)を提出することとし、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁できる者等との面談等を行います。

(2) 連絡先

本学 学生課入試係 (TEL 052-853-8020)

5 出願手続

インターネット出願システムで出願情報の登録及び入学検定料の支払いを行った後に、出願期間内に出願書類を郵送により提出してください。（出願期間内に本学へ書類が到着しない場合は、受験できませんのでご注意ください。）

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>インターネット出願について

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/internet/>

【インターネット出願システムを利用した出願の流れ】

①出願情報の登録	インターネット出願システムへの登録期間にパソコンやスマートフォンから、本学のインターネット出願システムにアクセスし、画面の指示に従って出願情報を登録してください。
②出願情報の確認	入学検定料の支払い前に 登録した内容に誤りがないか必ず確認してください。入学志願票（確認用）を印刷して確認することもできます。
③入学検定料の支払い	検定料の支払い方法を選択し、入学検定料30,000円+支払手数料を支払ってください。支払い方法は以下のいずれかです。 ・クレジットカード ・コンビニエンスストア ・ネットバンキング ・ペイジー対応銀行ATM
④入学志願票等の印刷	入学志願票（提出用）及び宛名ラベルを印刷してください。
⑤出願書類の提出	「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を本学学生課入試係へ書留速達郵便で送付してください。

※出願情報の登録だけでは出願手続は完了しません。下記出願期間内に「(4) 出願に必要な書類等」に記載されている書類を郵送で提出することで完了します。

(1) 出願期間

令和4年8月8日(月)から令和4年8月16日(火) 16:00まで (必着)

※消印有効ではありませんので、郵便事情を考慮して早めに送付してください。なお、出願期間最終日（8月16日（火））のみ、郵送による出願ができない事由がある場合に限り、持参による出願書類の提出を認めます。この場合、必ず、同日の9:00から15:00の間に学生課入試係（052-853-8020）に予め連絡した上で、16:00までに本要項に記載してある出願書類の郵送先へ持参により提出してください。

※インターネット出願システムへの登録期間は、令和4年8月1日(月) 9:00から令和4年8月16日(火)16:00までです。

(2) 出願書類の郵送先

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地（桜山キャンパス）
名古屋市立大学 学生課 入試係

(3) 出願書類の提出方法

- ア 書留速達郵便で送付してください。
- イ 出願期間を過ぎた場合は受理しません。

(4) 出願に必要な書類等

本学所定の様式（履歴書（記入例含む）、志願理由書）については本学ウェブサイトに掲載しています。

本学ウェブサイト>入試情報>学部入試情報>学生募集要項(一般・推薦・留学生・帰国生徒等)

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/undergraduate/guide/>

から様式をダウンロードの上、作成してください。

	書 類 等	説 明
インターネット出願システムから印刷する書類	① 入学志願票 (提出用)	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから白色のA4用紙に印刷してください。(カラー、モノクロのどちらでも可) 顔写真データは上半身、無帽、正面向き、背景なし、カラー、出願前3か月以内に撮影したものをアップロードしてください。 入力上の留意事項については11ページを参照
	② 宛名ラベル (出願封筒用)	<ul style="list-style-type: none"> 顔写真データのアップロード及び入学検定料の支払いが完了した後、インターネット出願システムから、白色のA4用紙に印刷したものを市販の角型2号封筒(各自でご用意ください)に貼り付け、出願に必要な書類を封入してください。 1つの封筒には1名分のみとし、2名分以上封入してはいけません。
本学ウェブサイト掲載の出願書類所用紙	③ 履 歴 書	<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の用紙により本人が記入したもの。一般選抜志願者は「志願理由」欄も記入すること。(社会人特別選抜志願者は、別紙④「志願理由書」を提出するため、記入不要。)
	④ 志 願 理 由 書 (社会人特別選抜志願者のみ)	<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の用紙により、志願者が1,000字以内で記入したもの。 志願者の社会人としての経験を踏まえて、社会活動や仕事の内容などにも触れながら、編入学を志願する理由を述べてください。
その他必要な書類	⑤ 「卒業(見込)証明書」 又は 「在学(期間)証明書」	<ul style="list-style-type: none"> 志願者の出身(在籍)学校等の長が作成したもの。 在学(期間)証明書は出願資格(1)イまたは(2)ウで出願する者のみ。なお、本学へ編入学する時点で休学期間を除いて大学に2年以上在学していることがわかる(休学の有無や期間が明記されている)ものを提出してください。
	⑥ 成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> 志願者の出身(在籍)学校等の長が作成したもの。 修得単位数が明記されたものとし、令和5年3月までに単位修得見込みの科目についても、評価の欄に○印を付したものとします。 出願資格(1)イまたは(2)ウで出願する者で、上記様式以外の場合は、履修登録用紙のコピーなど62単位取れることを確認できるものを必ず同封してください。 ※「卒業(見込)証明書」や「在学(期間)証明書」、成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本・住民票など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

<p>⑦ TOEIC公開テストの公式スコア (心理教育学科及び現代社会学科の一般選抜志願者のみ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原本（コピーは不可）を提出してください。 ・TOEIC公開テストの種類は、Listening & Readingに限ります。 ※ウェブサイトからダウンロードし、印刷された成績表は不可。
--	---

(5) 入学検定料の返還

ア 第1段階選抜の不合格者に対しては、23,000円を返還します。該当者には、第1段階選抜結果通知の際に本学所定の書類によりお知らせします。

イ 上記アの場合以外は原則として既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合は、納入された入学検定料を返還します。詳細は本学ウェブサイト

(<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/fee/refund/>) をご覧ください。

- ・二重で支払いをした場合
- ・入学検定料等の支払い後、出願書類を提出しなかった場合。(出願が受理されなかった場合も含む。)

(6) 受験票のダウンロード及び印刷

第1段階選抜の合格者及び第1段階選抜を実施しなかった学科の志願者は、令和4年9月5日(月)10:00から、インターネット出願システムより受験票のダウンロード及び印刷が可能となります。各自で印刷してください。

なお、第1段階選抜の不合格者はダウンロード及び印刷ができませんので、ご注意ください(第1段階選抜の不合格者は、受験票のダウンロード画面に「1次不合格」と表示されます)。

(7) 受験案内

受験案内は本学ウェブサイトに掲載いたします。試験場や集合場所、その他受験上の注意事項は受験案内で必ずご確認ください。

本学ウェブサイト>入試情報>入試実施状況>受験案内

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/application-status/guide/>

掲載期間：令和4年9月5日(月)10:00から

(8) 出願上の留意事項

ア 提出された出願書類は返却しません。

イ 出願書類に不備がある場合は受理しないことがありますので、十分注意してください。なお、出願手続後は書類等の返却及び記入事項の変更は認めません。ただし、連絡先について変更があれば速やかに本学学生課入試係まで郵便はがき等で連絡してください。

ウ 現代社会学科又は国際文化学科を受験する者は、インターネット出願システムの登録時に、一般選抜又は社会人特別選抜のどちらかに出願するか選択してください。

エ 本学の受験票は、入学手続に必要なですから大切に保管しておいてください。

オ インターネット出願システム又は出願書類に虚偽の登録又は記載をした場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。

カ TOEIC公開テスト(Listening & Reading)は、受験後、成績が送付されるまでにかかなりの時間がかかりますので、出願期間に間に合うよう注意して受験してください。

(9) インターネット出願システム入力上の留意事項

- ア 「居住地」の欄は、名古屋市在住の方で、志願者又は配偶者若しくは1親等の親族が入学の日(4月1日)において同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していることを住民票により証明できる方(名古屋市住民等)は「名古屋市内居住(1年以上)」を、名古屋市内に住所を有している期間が1年未満の方は「名古屋市内居住(1年未満)」を、名古屋市外に居住の方は「名古屋市内居住ではない」を選択してください。
- イ 「住所等」の欄は、令和5年4月上旬まで確実に連絡を受けることができる連絡先を入力してください。
- ウ 「メールアドレス」欄は、パソコン・携帯電話の両方を持っている場合は、どちらか一方のアドレス(確実に受信できるもの)を入力してください。
- エ 「緊急連絡先」欄は、本人に連絡がとれないときに確実に連絡できる方(保護者等)の情報を入力してください。
- オ 「3年次編入情報」欄は、在籍している(又は在籍していた)学校名等を入力してください。

6 選抜方法

(1) 第1段階選抜

【心理教育学科】

入学志願者が10名を超えた場合は、TOEIC公開テスト(Listening & Reading)の成績により第1段階選抜を実施します。

【現代社会学科】

入学志願者が18名を超えた場合又は社会人特別選抜志願者が9名を超えた場合は、一般選抜志願者はTOEIC公開テスト(Listening & Reading)の成績により、社会人特別選抜志願者は志願理由書により第1段階選抜を実施します。

【国際文化学科】

一般選抜志願者は英語試験による第1段階選抜を実施しません。社会人特別選抜志願者が10名を超えた場合は、志願理由書により第1段階選抜を実施します。

第1段階選抜判定通知書の送付(不合格者のみ)

2段階選抜を実施した場合、第1段階選抜の不合格者に第1段階選抜判定通知書と入学検定料の返還に関わる本学所定の書類を令和4年9月5日(月)に発送します。

(2) 第2段階選抜

第1段階選抜合格者に対して、小論文及び面接を実施します。

ア 実施日時・場所

令和4年9月9日(金)

名古屋市立大学 滝子キャンパス

名古屋市瑞穂区瑞穂町字山の畑1(17・18ページ図参照)

当日は、受験票・筆記用具(鉛筆・消しゴム)を持参し、試験開始20分前までに集合してください。試験場及び集合場所については、受験案内をご確認ください。

教科等	時 間	内 容	
小論文	10：00～11：30 (90分)	心理教育学科	資料を読み、課題に答える。若しくは与えられた論題について見解を述べる。
		現代社会学科	
		国際文化学科	
面接試験	13：00～	学科における専門分野に関する知的関心、学習意欲、積極性、基礎知識、理解力、表現力などを総合的に評価します。	

※ 小論文、面接試験のうち一つでも受験しないものがある場合、不合格となります。

イ 選抜基準

【心理教育学科】

TOEIC公開テスト (Listening & Reading) の点数、小論文及び面接試験の成績並びにその他の提出書類により総合して入学者の選抜を行います。

【現代社会学科】

①一般選抜

TOEIC公開テスト (Listening & Reading) の点数、小論文及び面接試験の成績並びにその他の提出書類により総合して入学者の選抜を行います。

②社会人特別選抜

小論文及び面接試験の成績並びにその他の提出書類により総合して入学者の選抜を行います。

【国際文化学科】

①一般選抜

小論文及び面接試験の成績並びにその他の提出書類により総合して入学者の選抜を行います。面接試験では英語能力についても確認します。

②社会人特別選抜

小論文及び面接試験の成績並びにその他の提出書類により総合して入学者の選抜を行います。

7 合格発表

(1) 日 時 令和4年9月28日 (水) 10：00

(2) 方 法 合格者の受験番号を本学ウェブサイトに掲載するとともに、入学許可書及び入学手続関係書類を合格者あて送付します。(電話等による問合せには一切応じません。また、掲示板等での掲示はありません。)

不合格者には送付しませんので、必ずウェブサイトで合否を確認してください。

本学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

8 入学手続

- (1) 日 時 令和4年10月12日(水) 13:00~15:00
- (2) 場 所 本学 桜山キャンパス本部棟 (17・18ページ参照)
- (3) 方 法 原則として本人が、本学の受験票及び入学時納付金納付証明書等(詳細は合格者に送付する「入学手続のお知らせ」でお知らせします。)を持参して手続してください。
上記の期間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したのものとして取扱います。
入学を辞退する場合は、学生課入試係へ電話連絡の上、郵便はがきで申し出てください。(令和4年10月11日(火)必着)

9 納付金

(1) 学 費

区 分	名古屋市住民等	その他の者
入 学 料	232,000円	332,000円
授 業 料	535,800円	535,800円
計	767,800円	867,800円

- 注1 入学料は入学手続時に納付してください。入学手続後の入学料の返還はできません。
- 2 入学料、授業料は、令和4年4月入学者の金額です。令和5年度入学者については改めてお知らせします。
- 3 授業料は、入学後、年2回(前期・後期)に分けて引落を実施します。
- 4 名古屋市住民等とは、①入学者又は②配偶者若しくは1親等の親族が入学の日(4月1日)において同日の前から引き続き1年以上の期間名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。
- 5 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

(2) 諸団体納付金

後 援 会 費	30,000円
同 窓 会 費	15,000円 (瑞 桜 会)
交 流 会 費	5,000円
学 友 会 費	5,000円
学生教育研究 災害傷害保険料	1,750円
学 研 災 付 帯 賠償責任保険料	680円
計	57,430円

- 注1 入学手続き時に、入学料とあわせて納付してください。
- 注2 上記金額については変更する場合があります。確定額については入学手続書類送付時にお知らせします。
- 注3 学生教育研究災害傷害保険は、入学時に全員加入となります。本学の教育研究活動中及び通学中に生じた急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被る傷害に対して保険金が支払われます。
- 注4 学研災付帯賠償責任保険は、正課（実習等）、学校行事、課外活動及びその往復において、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合等により、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われます。

10 入学後に必要となる経費について

入学以後、学外実習等の経費の負担が必要となります。

11 追加合格

- (1) 入学手続の結果、欠員が生じた場合は追加合格者を発表することがあります。
- (2) 追加合格の通知は、入学志願票に記載された連絡先に対して電話で行います。

12 編入学後の履修等について

- (1) 編入学後の履修について

編入学後は各学科で定めるカリキュラム（2021年度カリキュラム）に従って卒業要件を満たすよう単位を修得しなければなりません。ただし、編入学する前に在学した大学、短期大学又は高等専門学校において修得した単位（以下「既修得単位」という。）については、62単位を超えない範囲で本学において修得したものとみなし、当該学科の卒業要件の単位として認定します。

- (2) 卒業要件及び既修得単位の認定について

卒業に必要な最低修得単位数と編入学の際に認定しうる最高単位数は別表1、2、3のとおりです。

- (3) 既修得単位の認定基準等について

ア 心理教育学科においては、教養教育科目について、①大学を卒業した編入学生については、教養教育における修得必要単位数36単位全てを修得したものとす一括認定を行います。②大学に2年以上在学した編入学生、短期大学又は高等専門学校を卒業した編入学生については、原則として、当該学科での教養教育科目における区分ごとに認定します。

イ 現代社会学科及び国際文化学科においては、教養教育科目について、①大学、短期大学又は高等専門学校を卒業した編入学生については、教養教育における修得必要単位数36単位全てを修得したものとす一括認定を行います。②大学に2年以上在学した編入学生については、原則として、当該学科での教養教育科目における区分ごとに認定します。

ウ 心理教育学科、現代社会学科及び国際文化学科において、専門教育科目については科目ごとに認定します。ただし、認定対象外の科目があります。

- (4) 在学期間は、2年以上6年以内です。

- (5) 心理教育学科及び国際文化学科においては、3年次から専任教員担当の「専門演習」を選択し所属しなければなりません。受け入れ人数の制限などにより、必ずしも希望する教員の「専門演習」を選択できない場合があります。
- (6) 「保育士資格」、「幼稚園教諭免許」、「中学校教諭免許」、「高等学校教諭免許」、「社会福祉士国家試験受験資格」、「公認心理師試験受験資格」の取得を希望する編入学生は、2年間で資格取得に必要な単位を充足できないことがあります。
- ※公認心理師試験の受験資格取得には、公認心理師法施行規則に定める所要の科目を開設する大学院において、所要の単位を修得して修了する必要があります。ただし大学院の履修については、省令で定められた施設において、実習指導者の資格を有する者による指導を受けながら2年以上の実務経験で代替することもできます。
- (7) 社会人特別選抜により合格した編入学生の「外国語科目」の履修について
- ア 大学、短期大学又は高等専門学校を卒業した編入学生については、教養教育科目について一括認定を行いますので、履修の必要はありません。
- イ 大学に2年以上在学した編入学生については、既修得単位の認定を行っても教養教育科目の「外国語科目（英語・未修外国語）」の必要単位数を満たしていない場合には、卒業要件を満たすために「外国語科目」の不足分の単位を修得しなければなりません。
- (8) 編入学生には、既修得単位の認定申請及び履修科目等について、事前に個別指導します。

別表1 心理教育学科

区分		教養教育科目											専門教育科目					合計	
		大学 特色 科目	現代 社会 の諸 相	文化 と人 間性 の探 求	人間 と自 然	自然 と数 理の 探求	英 語	その 他の 言語	情 報 科 目	健 康・ スポ ーツ 科 目	ボ ラ ン テ ィ ア 科 目	地 域 参 加 型 学 習	小 計	基 礎 科 目	基 幹 科 目	関 連 開 科 目	展 開 科 目		卒 論 等
卒業必要単位数	必修 選択	4	4	4	6	4	2	2				36	5	16	28		20	96	132
	自由 選択	10												27					
認定しうる 最高単位数	大学、高専、短 大を卒業した者	4	4	4	6	4	2	2				36	26					62	
	大学に2年以上 在学した者	4	4	4	6	4	2	2				36	36					* 62	
既修得単位の認定対象外の 科目及びその単位数													卒業論文 卒業論文指導に関わる指定科目 専門演習1・2 専門演習3・4					8 各2 各2	

* 認定しうる最高単位数は、教養教育科目、専門教育科目の区分ごとにおける最高単位数を表しており、合計単位数とは一致しない。

別表2 現代社会学科

区分		教養教育科目											専門教育科目					合計	
		大学 特色 科目	現代 社会 の諸 相	文化 と人 間性 の探 求	人間 と自 然	自然 と数 理の 探求	英 語	その 他の 言語	情 報 科 目	健 康・ スポ ーツ 科 目	ボ ラ ン テ ィ ア 科 目	地 域 参 加 型 学 習	小 計	基 礎 科 目	基 幹 科 目	関 連 開 科 目	展 開 科 目		卒 論 等
卒業必要単位数	必修 選択	4	4	4	6	4	2	2				36	5	16	26		22	96	132
	自由 選択	10												27					
認定しうる 最高単位数	大学、高専、短 大を卒業した者	4	4	4	6	4	2	2				36	26					* 62	
	大学に2年以上 在学した者	4	4	4	6	4	2	2				36	36					* 62	
既修得単位の認定対象外の 科目及びその単位数													卒業論文 卒業論文指導に関わる指定科目 専門演習1・2 専門演習3・4					8 各2 各2	

* 認定しうる最高単位数は、教養教育科目、専門教育科目の区分ごとにおける最高単位数を表しており、合計単位数とは一致しない。

別表3 国際文化学科

区分		教養教育科目											専門教育科目					合計	
		大学 特色 科目	現代 社会 の諸 相	文化 と人 間性 の探 求	人間 と自 然	自然 と数 理の 探求	英 語	その 他の 言語	情 報 科 目	健 康・ スポ ーツ 科 目	ボ ラ ン テ ィ ア 科 目	地 域 参 加 型 学 習	小 計	基 礎 科 目	基 幹 科 目	関 連 開 科 目	展 開 科 目		卒 論 等
卒業必要単位数	必修 選択	4	4	4	12	4	2	2				36	5	16	26		20	96	132
	自由 選択	4												29					
認定しうる 最高単位数	大学、高専、短 大を卒業した者	4	4	4	12	4	2	2				36	26					* 62	
	大学に2年以上 在学した者	4	4	4	12	4	2	2				36	36					* 62	
既修得単位の認定対象外の 科目及びその単位数													卒業論文 卒業論文指導に関わる指定科目 専門演習1・2 専門演習3・4					8 各2 各2	

* 認定しうる最高単位数は、教養教育科目、専門教育科目の区分ごとにおける最高単位数を表しており、合計単位数とは一致しない。

13 試験場及び学生課入試係案内

下記については参考として記載しています。必ず直前にご自身で確認の上、ご利用ください。

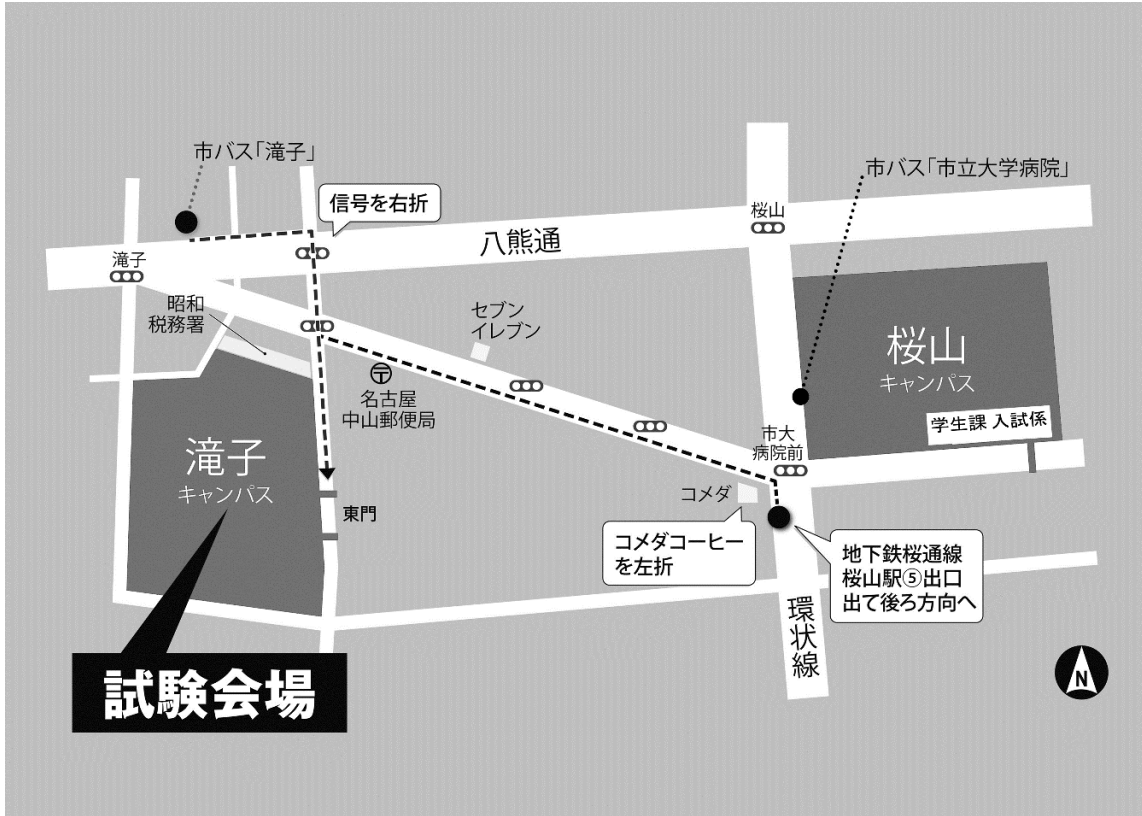


敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにもこの方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

20歳未満の喫煙は法律で禁止されていますが、喫煙が健康に及ぼす悪影響に鑑み、皆さんが本学入学後、喫煙者とならないよう強く希望します。

【付近図】



地下鉄

路線名	下車駅	備 考
桜通線	桜 山	滝子キャンパスへは5番出口から徒歩約10分

市バス

バス停	のりば	市バス経路			下車するバス停	備 考
		系統	起点	行先		
金山バスターミナル	7番	金山11	金 山	池 下	滝 子	<ul style="list-style-type: none"> 滝子通2丁目は一つ手前のバス停ですから注意してください バス所要時間はいずれも約15分 バス停「滝子」から滝子キャンパスまでは徒歩数分
		金山16		瑞穂運動場東		
		金山12		妙見町		
				桜山経由金山		
	8番	金山14		桜山経由瑞穂運動場東		

14 授業科目概要

人文社会学部では、学部発足以来の「豊かで人間らしい生き方well-being」という教育・研究の目標をふまえ、「持続可能な発展Sustainable Development」が模索されているなか、ESD(Education for Sustainable Development)を「自然や他者との関わりを通して地球社会および人間存在を問うとともに、私たち一人ひとりの『持続可能な生き方/あり方』を捉え直す教育」として実現することをめざし、学部共通科目としての基礎科目を設定し、それを土台として、3つの学科のカリキュラムを編成しています。

〔学部共通科目〕

基 礎 科 目
ESD入門 (地球規模の課題) グローバル経済と環境保全 多文化共生 人の移動とグローバル・シティズンシップ (地域の課題) 都市開発と自然との共生 自文化理解 マイノリティとの共生

〔心理教育学科〕

区 分	科 目 名
基 幹 科 目	ESD概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 法学 現代社会と福祉1 日本文化論 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 心理学概論 教育学概論2 保育原理 発達心理学1 現代教育社会学 心理学統計法1 教育史 臨床心理学概論
展 開 科 目	人 の 理 解 知覚・認知心理学B(認知心理学) 発達心理学2 学習・言語心理学 感情・人格心理学 神経・生理心理学 知覚・認知心理学A(知覚心理学) 動作学 現代日本語論 現代人権論
	人 を 育 む 教育学概論1 教育制度論 保育・教育課程総論 教育課程論 教育内容論 保育内容総論 教育方法論1・2 特別支援教育1 教職概論1・2 心理学的支援法 障害者・障害児心理学 教育・学校心理学A(教育心理学) 教育・学校心理学B(教育相談) 福祉心理学
	生 涯 発 達 と 環 境 社会・集団・家族心理学A(社会・集団心理学) 社会・集団・家族心理学B(家族心理学) 健康・医療心理学 産業・組織心理学 司法・犯罪心理学 教育社会学 比較教育学 多文化保育・教育論 家族社会学(家庭支援論) 児童・家庭福祉論2 現代都市問題 NGO論 社会的ネットワーク論 地域社会学
	心 理 ・ 教 育 の 技 法 心理学統計法2 心理学実験1・2 心理学研究法 心理的アセスメント ESD演習(スタディツアー) 子ども青少年支援演習 保育内容演習(健康・人間関係・環境・言葉・音楽の表現・造形的表現) 子どもの理解と援助 子ども家庭支援の心理学 保育・教職実践演習(幼稚園) 社会調査法
関 連 科 目	社会的養護 社会的養護内容 子どもの保健 子どもの健康と安全 医療と保育1・2・3 子どもの食と栄養 保育相談支援 乳児保育1・2 保育内容演習2(健康・表現) 音楽表現1・2 造形表現1・2 身体表現1・2 言語表現1 保育実習1(保育所・施設) 保育実習指導1(保育所・施設) 保育実習2 保育実習指導2 保育実習3 保育実習指導3 学校体験活動 幼稚園教育実習(含事前事後指導) 医療保育実習 公認心理師の職責 人体の構造と機能及び疾病 関係行政論 精神疾患とその治療 心理演習 心理実習1・2 行政法1・2 民法1・2
演 習	基礎演習 発展演習 専門演習1・2・3・4
卒 論	卒業論文

〔現代社会学科〕

区 分	科 目 名
基 幹 科 目	ESD概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 法学 現代社会と福祉1 日本文化論 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 社会情報統計論1 社会調査法 社会調査論 社会経済史 現代社会と福祉2 地域包括ケアシステム基礎 医療福祉論

展開科目	都市と政策	現代都市問題 名古屋学2 (名古屋と観光) 国内フィールドワーク NGO論 現代統治機構論 地域社会学 地方自治論 民法1・2 行政法1・2 現代思想 地理学 都市政策論 社会情報統計論2 環境政策論 データ解析法 名古屋と行政 公共政策論 行政学 ESDインターンシップ実習1・2 環境経済学I・II
	社会と理論	社会学史 社会思想史 現代人権論 労働社会学 社会的ネットワーク論 政治社会学 メディア社会学 マスコミュニケーション論 エスニシティ論 ジェンダー社会学 家族社会学(家庭支援論) ジェンダーと歴史社会 意思決定論 国際法 国際政治史 共生論 経済学原論 日本の歴史(日本近代史1・2) 外国史概論 アジア史 ヨーロッパ史 哲学 宗教学 社会・集団・家族心理学B(家族心理学)
	福祉と地域	社会福祉援助技術方法1・2 介護概論 社会福祉管理運営 社会保障論 公的扶助論 障害者福祉論 特別支援教育2 社会福祉援助技術総論 福祉行政と福祉計画 児童・家庭福祉論2 老人福祉論 コミュニティワーク論 スクール(学校)ソーシャルワーク論 スクール(学校)ソーシャルワーク演習 スクール(学校)ソーシャルワーク実習指導 スクール(学校)ソーシャルワーク実習 相談援助演習1・2・3・4・5 相談援助実習指導1・2 相談援助実習 精神保健の課題と支援 更生保護論 地域福祉論
関連科目	文化人類学 国際日本学概論 日本民俗学 辺境論1・2 国際協力論 アジア文化論 アジア社会論 現代教育社会学 教育史 教育社会学 東南アジア地域研究 比較教育学	
演習	基礎演習 社会調査実習1・2 社会理論演習 発展演習 専門演習1・2・3・4	
卒業論	卒業論文	

〔国際文化学科〕

区分	科目名	
基幹科目	ESD概論 多文化共生の心理学 児童・家庭福祉論1 子ども青少年支援論 社会学概論 政治学 法学 現代社会と福祉1 日本文化論 国際関係論 多文化社会論 観光論 入門経済学I 文系のための環境理学入門 国際文化学 国際日本学概論 国際文化特講1・2 名古屋学1(名古屋学入門) 名古屋学2(名古屋と観光)	
展開科目	グローバルな共生	文化人類学 宗教学 哲学 共生論 国際協力論 NGO論 社会言語学 外国史概論 大英帝国史 国際政治史 地理学 辺境論1・2 国際法 境界文化論 エスニシティ論 社会思想史 現代人権論 ジェンダーと歴史社会 国際経済学I・II 経済学原論
	異文化・自文化理解	日本とグローバル社会 日本の歴史(日本社会史・日本近代史1・2) 日本文化史 日本の文学1・2 日本民俗学 アジア史 アジア社会論 アジア文化論 東南アジア地域研究 アメリカ政治史 アメリカ社会論 ヨーロッパ史 ヨーロッパの言語と社会 英語文学概論 英語圏文化論 英語文学講読 Intercultural Studies Area Studies 日本経済史 外国経済史
	言語コミュニケーション	Academic Presentation Academic Writing Research and Presentation Research and Discussion ドイツ語中級1・2 フランス語中級1・2 中国語中級1・2 韓国語中級1・2 日本語・文化セミナー1・2 英語学概論 英語学各論 英文法概論 英文法各論 英語音声学概論 英語音声学各論 現代日本語論
	フィールドワーク	英語短期研修A・B ドイツ短期研修 フランス短期研修 中国短期研修 韓国短期研修 ディズニーインターンシップ 海外フィールドワークA・B 国内フィールドワークA・B・C(博物館連携科目)・D 国際センターインターンシップ短期・長期 国内ボランティア・インターンシップ1・2・3・4・5・6 留学A・B・C・D・E・F・G・H・I・J・K・L・M・N・O・P
関連科目	教職概論2 教育学概論2 教育史 特別支援教育2 教育制度論 教育社会学 比較教育学 教育課程論 教育方法論2 健康・医療心理学 発達心理学2 多文化保育・教育論	
演習	基礎演習 発展演習 専門演習1・2・3・4	
卒業論	卒業論文	

15 個人情報の取扱い

個人情報については「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取扱います。

(1) 個人情報の利用

ア インターネット出願システムに登録又は出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うため使用します。

イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）

ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

(2) 業者への委託

上記（1）の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

<注意>

学生募集要項および出願書類所定用紙は、名古屋市立大学ウェブサイトのみで公表し、紙媒体での配布は行っていません。

■連絡先：名古屋市立大学 学生課入試係 〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地
TEL (052) 853-8020 FAX (052) 841-7428 E-mail : shingaku@adm.nagoya-cu.ac.jp

●令和4年7月公表